

森の宝石 ブッポウソウの地域保護活動

吉備中央町は、岡山県の中心に位置し、昔から「吉備高原」と呼ばれる緑豊かな地域です。平成2年頃（旧加茂川町）から、巣箱の設置をはじめとするブッポウソウの保護活動を積極的に行ってきました。

合併後には、平成24年に制定した保護条例の対象としてブッポウソウを指定し、町の天然記念物として位置づけました。また、平成28年度に町民有志が立ち上げた「ブッポウソウ吉備中央町会」を中心に、巣箱の維持管理、啓発パンフレットの発行などを行っています。同会では町内数カ所に観察小屋を開設し、全国でも有数のブッポウソウ観察地として知られているほか、毎年ブッポウソウに関するコンテストやフォーラムを実施するなど、保護活動を通して、自然の大切さを町内外に広く発信しています。

その後吉備中央町は、令和元年度よりブッポウソウを「町の鳥」としました。今後もより積極的に保護活動を進めていきたいと考えています。

主な活動主体	ブッポウソウ吉備中央町会、吉備中央町
保護動植物の位置付け	岡山県版レッドデータブック 2020：絶滅危惧 I 類 環境省レッドリスト 2020：絶滅危惧 I B 類
活動状況（写真提供：ブッポウソウ吉備中央町会、吉備中央町）	

